

0. 【macOSの場合】 postgresSQLサーバを起動

以下のコマンドをターミナルに貼り付けてpostgresSQLサーバを起動する。

※Windowsの場合は自動で起動すると思います。

```
postgres
```

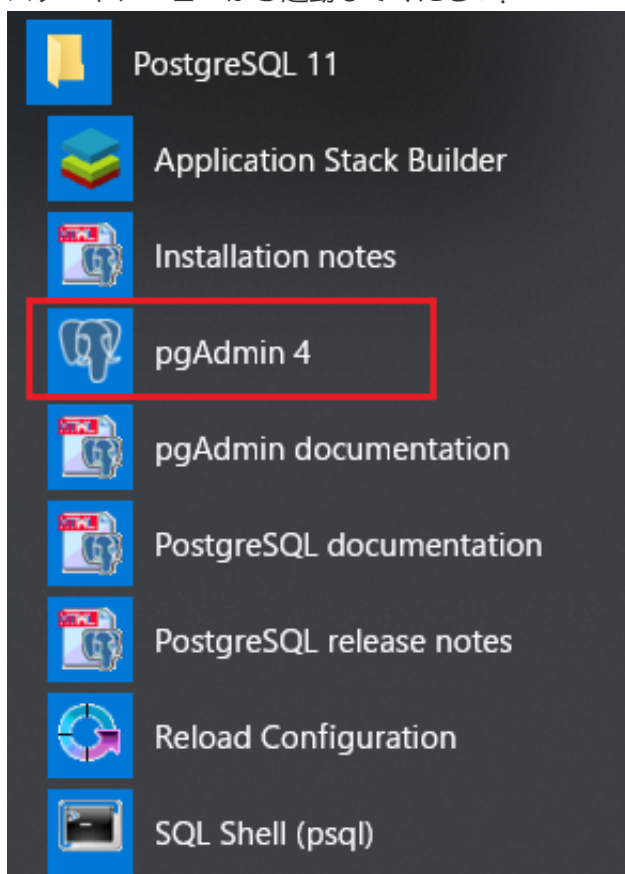
もしくは

```
postgres -D /usr/local/var/postgres
```

1. pgAdmin4の起動

Windowsの場合

スタートメニューから起動してください。



macOSの場合

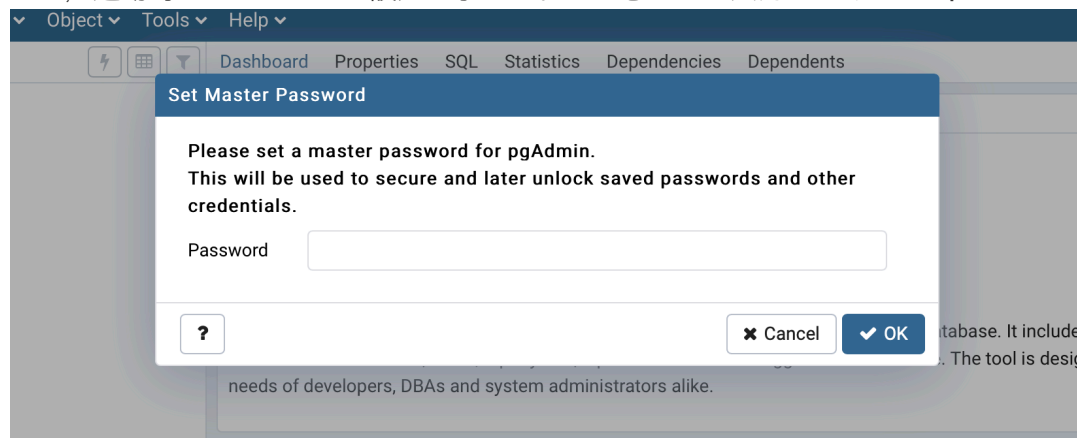
Launchpad->pgAdmin4

もしくは

Finder->アプリケーション->pgAdmin4.app

から起動してください。

また、起動時にパスワードの設定を求められると思うので入力してください。

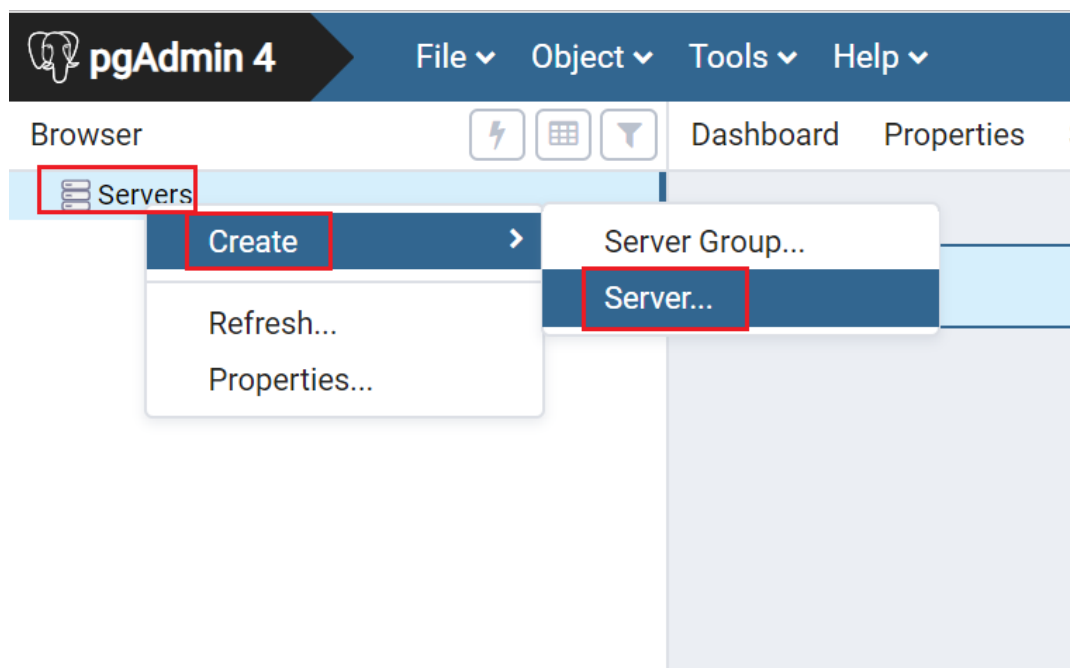


2. 使い方

[こちらのサイト](#)を参考・引用しています。

2-1 サーバの作成

「Servers」を右クリックして「Create」->「Server」をクリックします。



「Name」にサーバー名を入力し、作成するサーバーが所属するサーバーグループ「Server group」を選択します。

完了後、「Connection」タブをクリックします。

The screenshot shows a 'Create - Server' dialog box with the 'Connection' tab selected. The 'Name' field contains 'testserver1', the 'Server group' dropdown is set to 'Servers', and the 'Connect now?' checkbox is checked. The 'Background' and 'Foreground' fields have placeholder icons. The 'Comments' field is empty. The bottom of the dialog features an information icon, a help icon, and buttons for 'Cancel', 'Reset', and 'Save'.

Connectionタブ

「Host name/address」には「127.0.0.1」または「localhost」を指定する。

「Password」にはサーバーに接続する際のパスワードを入力する。

「Save password」にチェックを入れると、このサーバーに再接続した時にパスワードを手入力せずに接続できる。

「Save」を押して完了。

Create - Server

General **Connection** SSL SSH Tunnel Advanced

Host name/address: 127.0.0.1

Port: 5432

Maintenance database: postgres

Username: postgres

Password:

Save password? ☒

Role:

Buttons: [i] [?] [Cancel] [Reset] [Save]

macOSで「FATAL: role "postgres" does not exist」となる場合

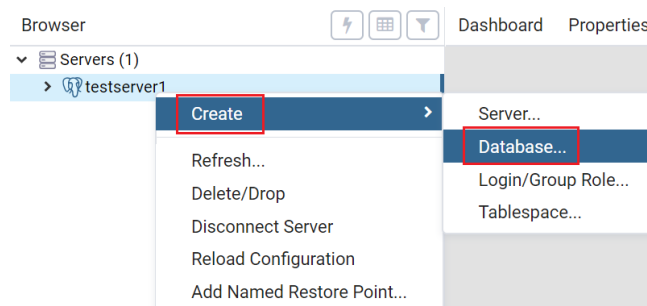
「Username」を自分の名前にしてみる。

名前の確認方法

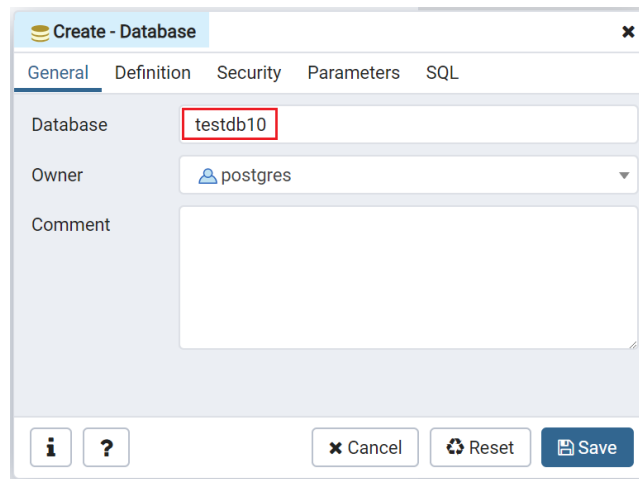
1. サーバを起動しているターミナルとは別のターミナルを開く
2. ターミナルで `psql -l` を実行する
3. 「Owner」の列に書かれている名前を「Username」としてみる

2-2 データベースの作成

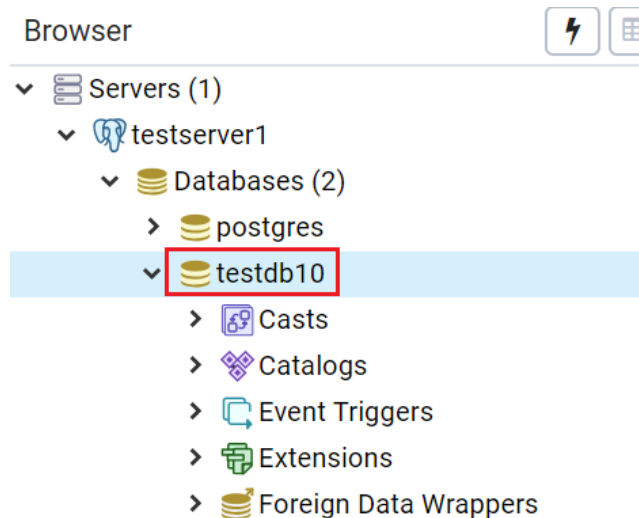
サーバーを右クリックして「Create」→「Database」をクリックする



「Database」にデータベース名を入力し、Saveボタンを押す

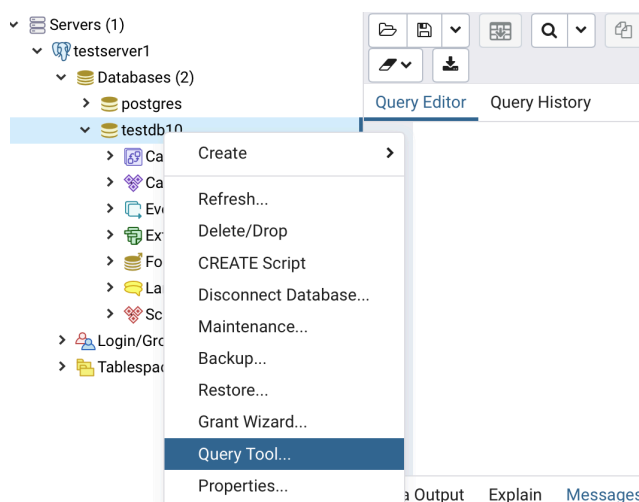


データベースが作成されます



2-3 テーブルの作成およびSQL文の実行

作成したデータベースを右クリックして「Query Tool」を選択

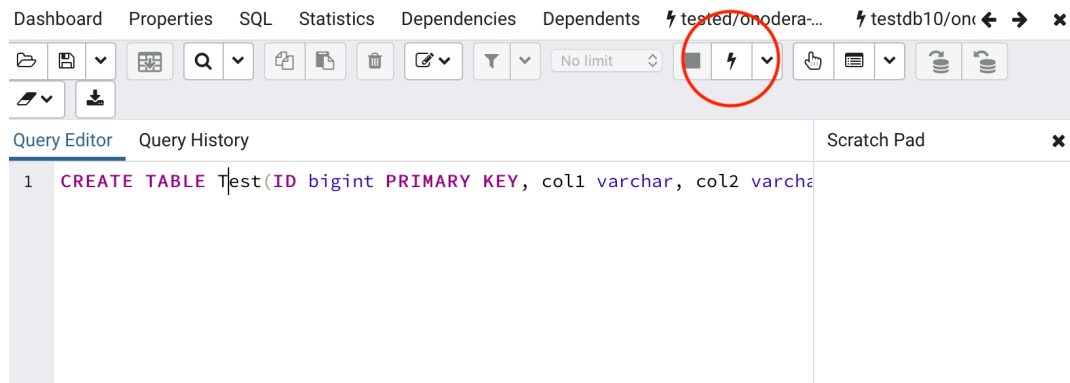


「Query Editor」タブにSQL文を入力

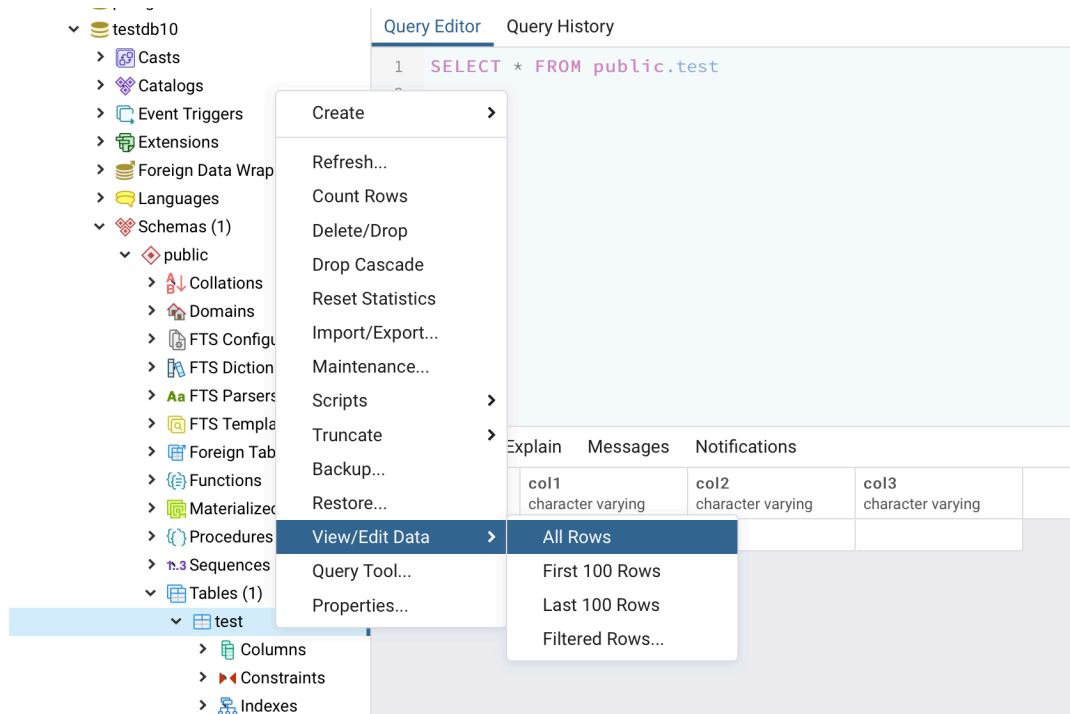
例えば以下のテーブルを作成するSQL文を入力する。

```
CREATE TABLE Test(ID bigint PRIMARY KEY, col1 varchar, col2 varchar, col3
varchar);
```

その後雷マークのボタンを押すことでSQL文を実行。



「Schemas」->「Tabeles」->「Test（作成したテーブル名）」を右クリックし、「Viwe/Edit Data」の「All Rows」を選択



テーブルの内容を確認することができる


Data Output					Explain	Messages	Notifications
	id [PK] bigint	col1 character varying	col2 character varying	col3 character varying			

同様に他のSQL文も実行できる

例えば以下のSQL文を「Query Editor」タブに入力し実行すると

```
INSERT INTO test(ID, col1, col2, col3) VALUES (1, '一列目', '二列目', '三列目')
```

テーブルにデータが追加されることがわかる

Data Output		Explain	Messages	Notifications
	id [PK] bigint	col1 character varying	col2 character varying	col3 character varying
1	1	一列目	二列目	三列目

その他

- CREATE VIEWなどで作成したViewは「Tables」の3つ下にある「Views」からテーブル内容と同様の方法で確認できます
- SQL文の実行が成功したにも関わらず結果が更新されない場合は, 「Tables」などを右クリックした際に出てくる「Refresh...」などを試してみる

参考サイト

- [PostgreSQL pgAdmin 4の使い方\(起動からデータ参照\) | ITSakura](#)
- [PostgreSQLでSQL実行までのチュートリアル - DEV Community](#) 🧑🏫 🧑🏫